

第4回 明日の西湘海岸を考える懇談会

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

平成31年1月31日

目 次

1. これまでの経緯
2. 事業概要および今後の予定について
3. モニタリング状況について
4. 移動したブロックについて

1. これまでの経緯

○平成19年9月：台風9号の来襲



○平成18・19年：西湘海岸保全対策検討委員会を開催

○平成20～26年：現地調査、試験の実施

○平成26年：西湘海岸の直轄事業化（県からの要望）

○平成27年～：明日の西湘海岸を考える懇談会を開催

・第1回（平成27年3月25日）

・第2回（平成28年1月27日）

・第3回（平成29年3月29日）

・第4回（平成31年1月31日）

平成29年10月23日：
台風21号の来襲

1. これまでの経緯

H19. 9 台風9号により被災



西湘海岸保全対策技術検討会

開催時期: 平成26年11月～現在

開催回数: 10回開催

参加者 : 本省、本局、事務所、国総研、有識者2名等

議題 : 技術的な検討



明日の西湘海岸を考える懇談会

開催時期: 平成27年3月～現在

開催回数: 3回開催(今回で4回目)

参加者 : 事務所、神奈川県、本局、国総研、
小田原市、二宮町、大磯町、有識者5名、
漁組、地区代表、市民団体等

議題 : 意見交換、情報共有 (合意形成)

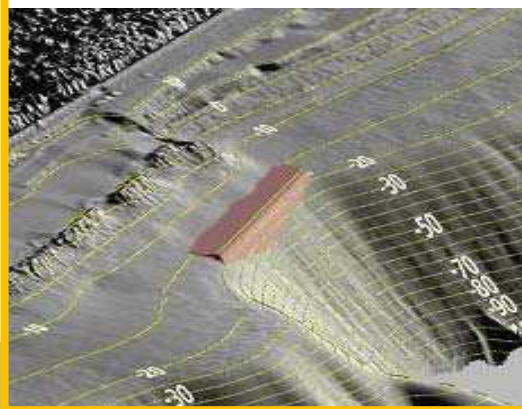
◆第3回懇談会(H29.3.29)
岩盤型潜水突堤 構造決定



2. 事業概要および今後の予定について -整備事業-

- 岩盤型潜水突堤 6基
- 洗掘防護施設 約2 km
- 養浜 約36万m³
- 沿岸漂砂礫流失抑制施設 約1 km

沿岸漂砂礫流失抑制施設イメージ



岩盤型潜水突堤イメージ



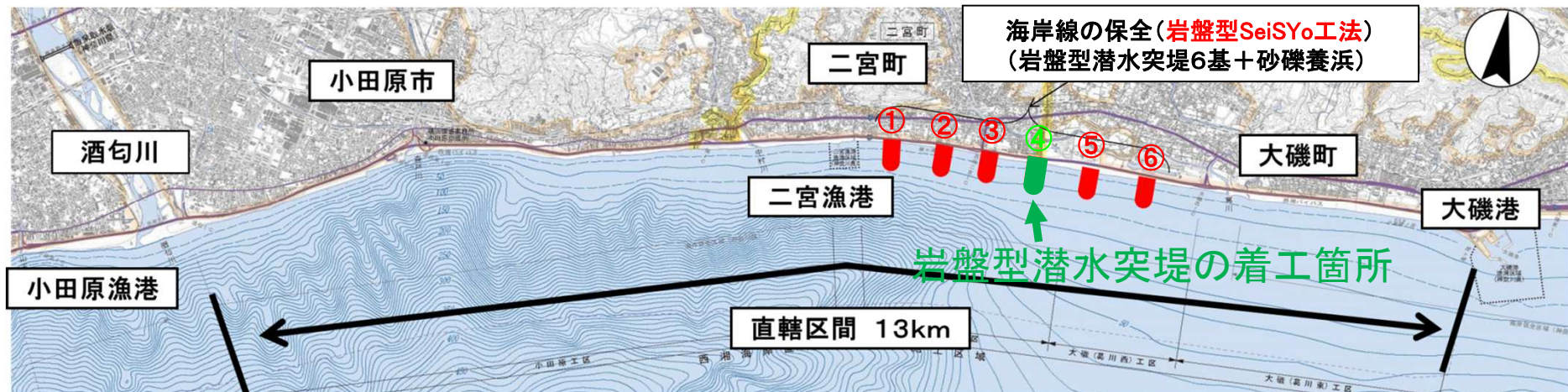
平常時の漂砂の移動を妨げず、高波浪時に前浜を構成する土砂の移動を制御する形状。

岩盤型潜水突堤と砂礫養浜のイメージ



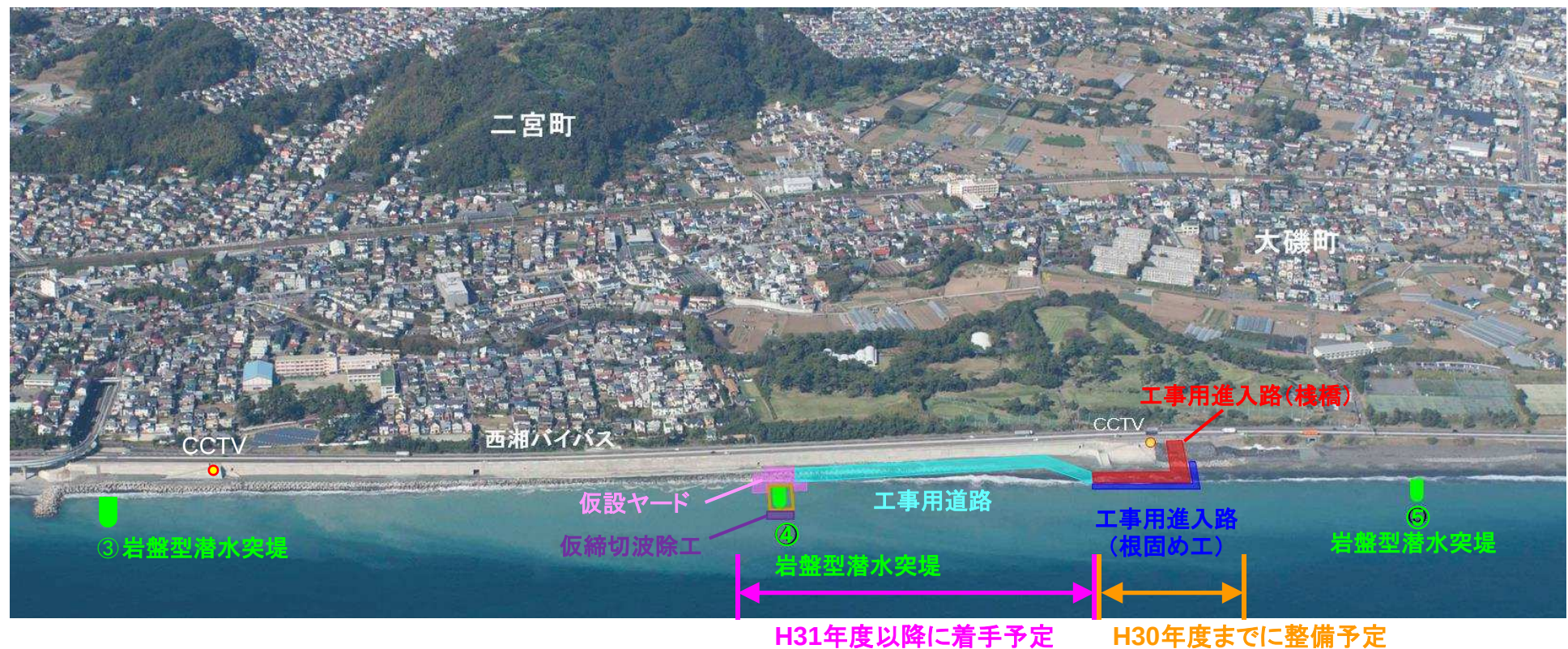
2. 事業概要および今後の予定について -事業進捗状況-

- 岩盤型潜水突堤を整備するための工事用道路を整備中



2. 事業概要および今後の予定について -今後の予定-

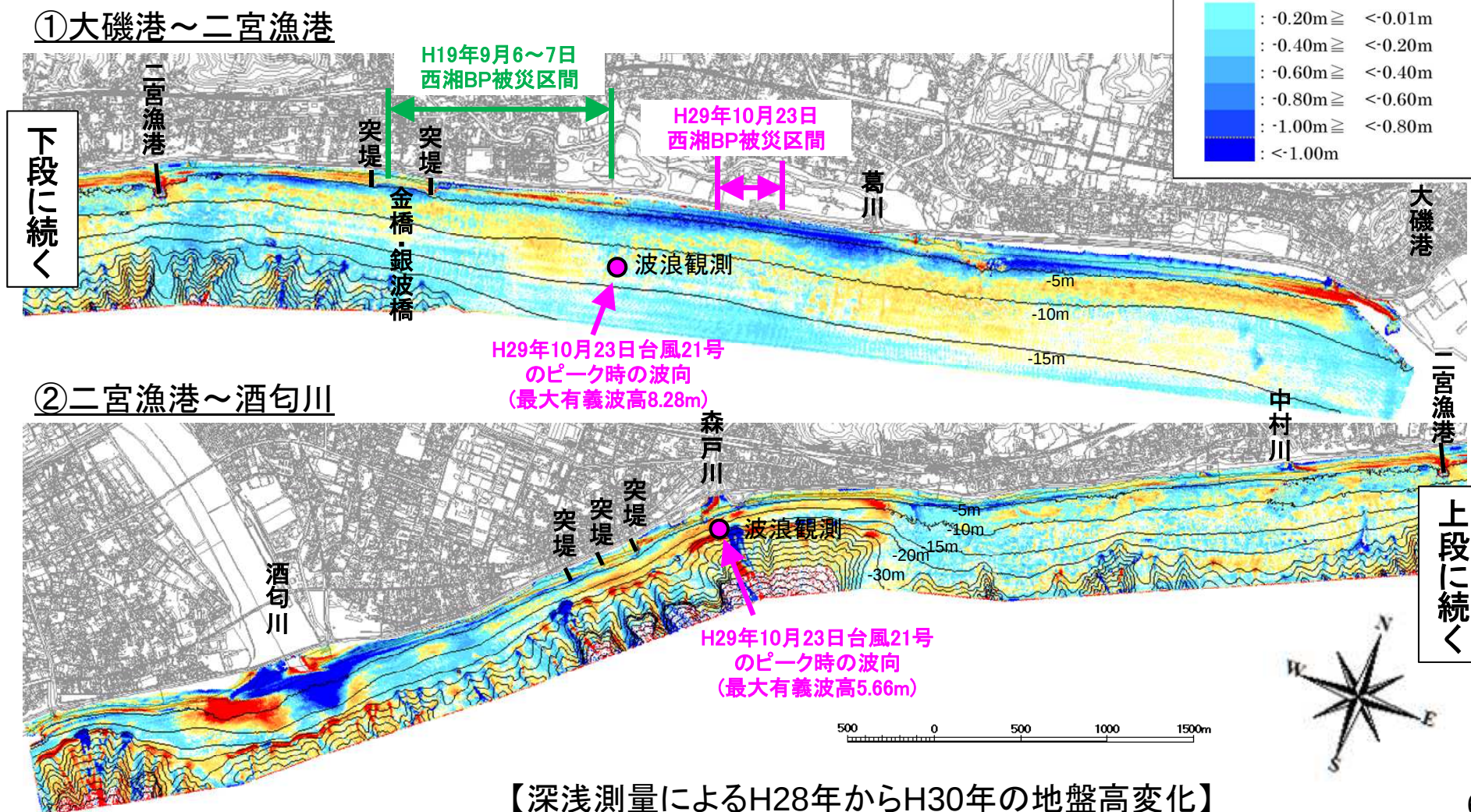
- 平成31年以降に工事用道路、波除工、岩盤型潜水突堤とその仮設ヤードの整備に着手予定



【整備予定の施設】

3. モニタリング状況について

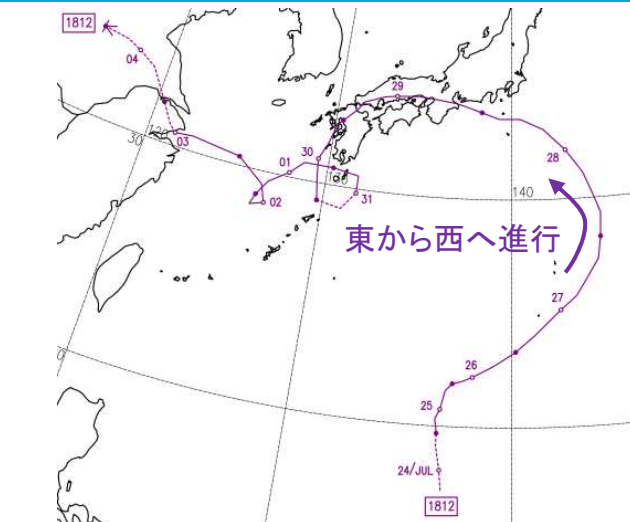
- ・ H28年とH30年の深浅測量結果を比較した。
- ・ 今後傾向を把握することで、砂の移動のメカニズムの解明や、養浜の実施方法等に活用していきたい。



4. 移動したブロックについて -ブロックの移動状況-

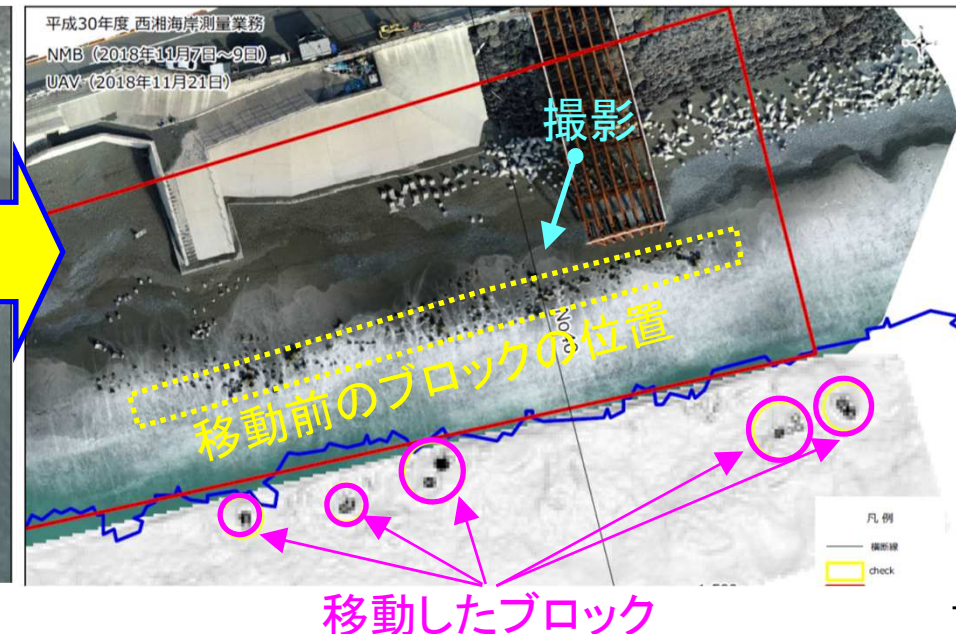
- 平成30年7月28～29日の台風12号に伴う高波浪により、波打ち際のコンクリートブロック（4t）が移動した
- 大潮の満潮の時間帯に、最接近し相模湾沖を西向きという特異な動きをしたことで小田原や真鶴で過去に例のない越波被害が発生するなど、特異な現象だった
- その後の調査より、沖の水中部にコンクリートブロックがあることを確認した

【平成30年5月の空中写真】



【平成30年7月台風12号の経路】

【平成30年11月の空中写真】



4. 移動したブロックについて -ブロックの移動対策-

- 移動したブロックを元の場所に戻したうえで、ブロックの移動対策として、各ブロックをチェーンで連結した
- 現場周辺での施工実績を考慮し、今後検討していく

